

League communication EHIME

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 吉田 昭枝

# 連盟通信 えひめ



## 会長あいさつ

会 長 吉田 昭枝

新年おめでとうございます。

昨年12月の衆議院選挙では、看護職の代表として阿部俊子氏が比例中国ブロック(岡山3区)当選されました。今回で4期目となります。これは、岡山県看護連盟会長はじめ会員みなさまの多大なるご努力の成果だと思えます。

また、比例北関東ブロックで、木村弥生氏が初当選されました。木村氏は日本看護協会の政策秘書室長をされていた方です。これで私たちの代表が衆議院に2名、参議院に2名となりました。心強い限りです。

さて、昨年「地域における医療及び介護を総合的に確保するための新たな仕組み」ができました。これまではあらゆる事業について、国の補助事業あるいは県の補助事業として決められたものを実施してきました。H26年からは病院や、学校、自治体、職能団体などが具体的に事業計画を申請し、そこから国を通して県へ「基金」として予算が下りる仕組みとなっています。

愛媛県看護協会も職能団体として具体的な事業を申請しています。看護連盟はこの事業(政策)を実現するために、しっかりとその役割を果たしたいと思っています。

今年もより一層活動に邁進して参りますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。

**あべ俊子 衆議院議員 四期目当選**

**木村弥生 衆議院議員 初当選**

**おめでとうございます**



**受章おめでとうございます**

**平成26年 秋の叙勲**

**瑞宝双光章**

**亀岡 マチ子様** (元県立中央病院看護部長)

**瑞宝单光章**

**森本 タケ子様** (愛媛労災病院看護部長)





## 連盟の活動の「見える化」を目指して

日本看護連盟会長 草間 朋子

新春のお慶び申し上げます。

うれしいニュースに後押しされ、晴れ晴れとした気分で輝かしい新春を迎えることができました。

国会議員が衆参合わせて4人になりました。看護師の業務拡大を実現した新保助看法が10月から施行されることになりました。

昨年12月に行われました衆議院選では、4期目の議員としてあべ俊子先生を国会に送り出すことができました。さらに、看護職の木村弥生議員を誕生させることができました。日本看護連盟が、衆議院、参議院（たかがい恵美子先生、石田昌宏先生）ともに、それぞれ2人の先生方を国会議員として送り出すことができる組織であることを心から嬉しく思っております。

昨年6月には、「保助看法」「人材確保法」等が改正され、「2025年問題」解決に向け、看護の力を発揮する大きな一歩を踏み出す年になりました。看護連盟の実行力、結束力は素晴らしいです。「やった」とみんなで歓喜の声を上げることができる活動の一つひとつ着実に実現してまいりましょう。

私たち看護職は、「予防し、治し、支える」医療保健介護を目指す社会の中でチームのキーパーソンとしてプライドをもって活動していく専門職であり、連盟は、医療保健介護を取り巻く環境を看護の視点から積極的に改善していく力強い組織です。

年頭にあたり、現場の課題をしっかりと吸い上げ、国民のみなさまに、支持され頼っていただける組織を目指して活動をしていくことを約束させていただくと同時に、会員のみなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。



## 新年のごあいさつ

公益社団法人 愛媛県看護協会会長 大西 満美子

新年、明けましておめでとうございます。

昨年末には、衆議院選挙があり、慌ただしい時をお過ごしになったことと思います。また、愛媛では12月としては珍しい大雪や寒波に見舞われましたが、新年は穏やかであればよいがと思い、新年のご挨拶をしたためているところです。

衆議院選挙では看護職の木村弥生新人議員が誕生しました。阿部俊子議員とともに2名の看護職議員が誕生し大変力強く感じているところです。

さて、昨年、新たな財政支援制度（各都道府県に基金を設置）が創設されたことはすでに皆様ご承知のことですが、看護関係の事業のほとんどがこの基金の中で行われることとなりました。看護の職能団体として、県内の看護職の課題を明確にし、社会の変化に対応した確固たる目的のもとで事業を展開していかなければならないと強く強く感じているところです。県内看護職の課題解決への努力をしてまいりますので、ご協力・ご支援よろしくをお願いいたします。

さて、今年の干支は未（ひつじ）年です。羊と言いますと草原でのんびり草をはむ風景を思いだします。今年1年は、忙しいだけで終わらず、忙しさの中のものんびりと心豊かに過ごせる日々を見出す工夫をしてみませんか。そして皆様方が心豊かに元気でご活躍をされることを心よりお祈り申し上げます。



## 新年のごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

愛媛県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、第二次安倍内閣改造にて農林水産副大臣を拝命。その後12月の衆議院解散総選挙では、全国の看護連盟の皆様からの温かく力強いご支援のおかげ様で4期目国政の場へ戻ることができました。

この場をお借りいたしまして真心より感謝申し上げます。

この責任の重さを胸に初心を忘れることなく看護職出身の国会議員として看護職の皆様の為、また弱者の方の為に精一杯努めさせて頂く所存でございます。

財政再建と景気回復が同時に必要とされる中、社会保障改革も進められていきます。

看護職における活躍の場の拡大の好機でもあります。働く女性の17人に1人が看護職です。個性と能力を発揮し女性が輝く社会には看護が輝く働き方が必須です。

看護職の皆様が、現場が良い方向へ変わった！看護職になって良かった！と実感して頂けるよう、皆様のお声をお聞かせ頂きながら引き続き努力してまいります。

今年一年が皆様にとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。



## 新年のごあいさつ

参議院議員 高階 恵美子

みなさまお健やかに新年をお迎えのことと存じます。

平素より看護政策の推進にご尽力賜り誠にありがとうございます。

昨年は、豪雪災害被災者の救済措置として歴史上初めて看護師国家試験が追加実施され、雇用保険法や医療介護法など看護界に関連する複数の法律が成立した大変印象深い一年でした。

2年ぶりとなった師走の総選挙では、看護界から2人の衆議院議員が誕生し、看護系国会議員数は過去最多となりました。自民党看護問題対策議員連盟会員数は350名を超え、いまや最大規模の勢力を誇っています。これもひとえに、日本看護連盟の会員ひとり一人のたゆまぬ努力と組織の結束力の賜と大変心強く感じております。

確たる信念のもとに集い鍛えてきた私たち看護連盟の政治基盤は、政権与党を支持する多くの方々の信頼を得て、さらに盤石な体制へと進化しています。こうした後ろ盾のもと、私たかがい恵美子も、昨年9月に厚生労働大臣政務官を拝命し、現在は年金、労働、雇用、子ども子育て分野を担当させていただいております。また、政府の政務官会合においては「高齢者の活躍と支援に関する政策」検討チームの世話役に指名されました。新たな政策づくりにチャレンジする機会を与えていただいたことに感謝しつつ、これからも最大限の努力を続けてまいります。みなさまのご健康とご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。今年もよろしく願いいたします。



## 新年のごあいさつ

参議院議員 石田 昌宏

愛媛県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりすばらしき一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年は引き続き、医療サービス提供体制、医療保険制度、介護保険制度など、社会保障制度改革の基礎となる具体的な施策が進んでいきます。10月には特定

行為に係る看護師の研修制度や離職看護職免許の届出制度などがスタートし、看護職の役割が拡大するとともに、看護職員確保対策の充実が図られます。

医療のあり方が大きく変化する中、専門職として質の高いケアを提供するため、看護職ひとりひとりが政策に積極的に参画し、ともに力を発揮してまいりましょう。

国民の皆様が健やかで安心した暮らしができるよう、そして私たち看護職がやりがいを感じ、誇りを持って働く環境作りのため、地に足を付け一步一步活動を続けてまいります。引き続き、暖かいご支援ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 支部長紹介

**中予第一支部**



鋪村加代子 **701名**  
 愛媛県看護連盟  
 松山市道後町2丁目11-14

**中予第二支部**



松本久美子 **450名**  
 済生会松山病院  
 松山市山西町880-2

**中予第三支部**



永江 隆 **128名**  
 道後ベテルホーム  
 松山市祝谷6丁目1277

**中予第四支部**



坂本 謙二 **85名**  
 松山記念病院  
 松山市美沢1丁目10-38

**中予第五支部**



政岡 千種 **143名**  
 愛媛県看護連盟  
 松山市道後町2丁目11-14

**中予第六支部**



泉 恵美子 **398名**  
 松山赤十字病院  
 松山市文京町1

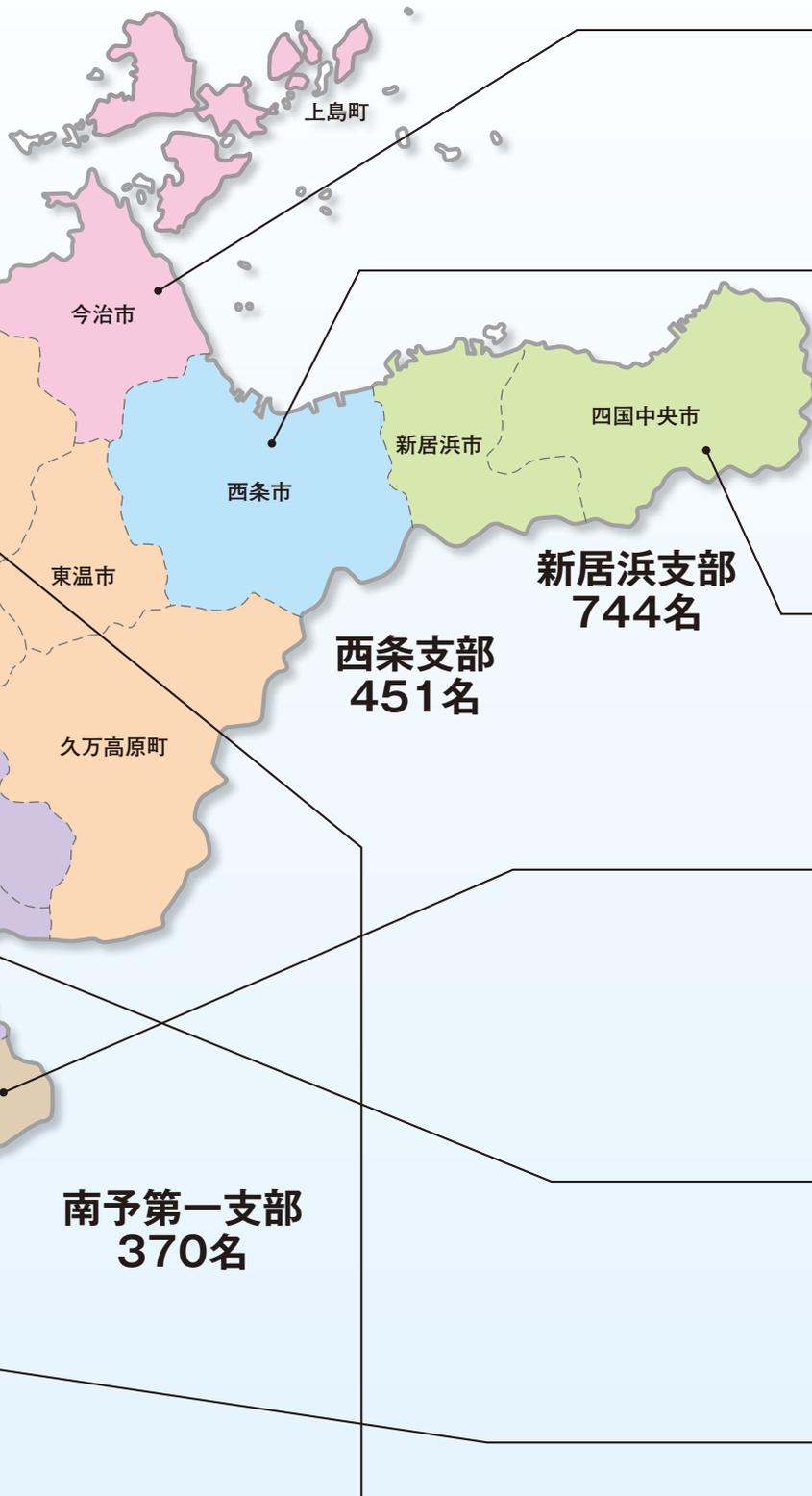
**中予第七支部**



西岡 愛弓 **828人**  
 南高井病院  
 松山市南高井町333



※支部会員数は2014年12月末現在



**今治支部**

曾我部 恵子  
済生会今治病院  
今治市喜田村7丁目1-6

**410名**



**西条支部**

大仲 道子  
済生会西条病院  
西条市朔日市269-1

**451名**



**新居浜支部**

八木 やよい  
十全総合病院  
新居浜市北新町1-5

**744名**

**新居浜支部  
744名**

**西条支部  
451名**



**南予第一支部**

福本 節子  
愛媛県看護連盟  
松山市道後町2丁目11-14

**370名**

**南予第一支部  
370名**



**南予第二支部**

楠 多佳子  
愛媛県看護連盟  
松山市道後町2丁目11-14

**428名**



**南予第三支部**

村上 かなえ  
愛媛県看護連盟  
松山市道後町2丁目11-14

**121名**



**中予教育支部**

辻 好美  
松山赤十字看護専門学校  
松山市清水町3丁目90

**49名**

**計 5,306名**

※所属施設のない支部長は、愛媛県看護連盟の住所と名称を入れております。

# 塩崎 恭久 衆議院議員 高階恵美子 参議院議員 国政報告会

昨年12月の衆議院解散総選挙に伴い、高階恵美子厚生労働大臣政務官が、塩崎恭久厚生労働大臣の応援のため来県されました。急遽開催が決定しましたが、たくさんのおみなさまにお集りいただきました。ありがとうございました。

看護職の更なる発展のため、塩崎大臣、高階政務官にご尽力いただいていることが、熱意のこもったお言葉からひしひしと感じられました。

- ◆日 時 平成26年12月3日(水) 13:30~14:45
- ◆会 場 いよてつ会館5階 ブリリアントルーム
- ◆出席者 104名



## 中予第二支部会員研修会に参加して

済生会松山病院 渡辺まゆみ



11月1日(土)午後、済生会松山病院にて会員74名・非会員5名、計79名の参加で中予第二支部会員研修会が開催されました。

まず吉田会長の挨拶、そしてDVD「おばあちゃんの思い出」を鑑賞し看護連盟活動の基礎を再確認しました。その後コミュニケーション・マナー講師の藤本裕子先生による『コミュニケーションUPセミナー』研修が開催されました。

テーマは好感度・信頼感を高めるコミュニケーション技術の取得です。参加者が持ち寄った気になるニュースを題材に「話す」「書く」という情報や意見などを発信する作業と「聞く」「読む」という情報や意見などを受信する作業から成り立っているコミュニケーション能力を高めるトレーニングを受けました。分かりやすく楽しい講義であったので、和気あいあいと1時間半が過ぎました。その中で印象に残ったのは、上手に聞くためにも相手が話しやすくなる態度の工夫をし、言葉以外の気持ちをくみ取れるように心を澄まし聞くことが大切になるという事です。患者様・ご家族はもとよりチーム医療のキーパーソンである看護師がこのような技術を身に付けることは、最高の医療を提供することにつながるのだと教えて頂きました。

重ねて11月16日(日)宇和島国際ホテルにおいても、藤本裕子先生による「看護師のための表情トレーニング～好感度UPセミナー～」が開催されました。

## 中予第七支部会員研修会に参加して

南高井病院 梶原 若奈



11月25日(火)に開催された会員研修に参加しました。吉田会長から「なぜ看護職に政治活動が必要なのか」を教えていただき、大変感銘を受けました。2025年問題は社会的な課題として取り上げられることが増え、次第に周知されつつあります。しかし、それに伴った看護力不足についてはあまり知られていないように感じます。地域包括ケアシステムを実現する上で、看護職は生活者としての地域住民を支える重要な役割を担っています。看護職が生き生きと働くことが国民の健康と生活を守ることになると研修を受けて感じました。

しかし現状は厳しく、繁多な業務を安全に行うことで精一杯な日々を送っており、看護職こそが政治に参加しなければならないと理解している仲間は多くはありません。先日衆議院議員選挙がありましたが、某テレビ局の街頭インタビューに答える看護師は「選挙には行ってないです。興味がありません。」と話しており、悲しい気持ちになりました。「選挙に行きました。政治に関心を持つことは大切です。」ときちんと言える仲間をたくさん作っていかねばならないと感じました。

これからも会員研修や連盟の活動に一人でも多くの看護職に参加してもらい、看護職として社会に果たすべき責任と使命についてもっと学び合いたいです。

## 東予地区会員研修会に参加して

医療法人住友別子病院 加藤 浩子



『家に帰りたい』を支える看護 ～治す医療から支える医療～ の研修(12月6日開催)に参加して「患者・家族の望みを叶えたい」「楽なように やりたいように 後悔しないように」という言葉が心に響き、スタッフの熱意と行動力に感動した。私も在宅医療を支える一員として、終末期でも家に帰ることで症状が緩和される、できないことができるようになることを日々のかかわりの中で感じている。住み慣れた生活環境と家族の大きな愛が計り知れない力を引き出すのだと共感できた。

また、チーム医療の重要性についても再認識できた。病棟看護師が入院早期に、患者・家族が在宅療養についてどう考えているかを確認し「家に帰りたい」を支える医療が展開できるような院内連携を構築する必要がある。在宅療養を視野に入れたケアや処置を行えばスムーズな退院に繋がり、自宅で過ごせる時間を増やすことができる。その為にも、在宅医療の実際を知ってもらえるようなカンファレンスや勉強会を推進することで、今以上に「家に帰りたい」を支える看護に近づけるチーム医療を実施したい。

終末期には、苦痛を取り除いた上で、その時々望みが叶えられるよう全力でサポートすることが、安心感と楽しみが持てる療養を支えることに繋がることを心に留め、患者介入をしていきたい。そして、「退院してよかった」「家で看取ってよかった」と思ってもらえるかかわりをしていこうと決意できた研修であった。

## 中予地区会員研修会に参加して

伊予病院 田中 孝幸



今回、中予地区研修会「『看護の動向』 -2025年問題を見据えて-」(12月6日開催)に参加しました。

団塊世代が75歳を迎える2025年には、人口減少と超少子高齢化が世界に類を見ない状況になります。そして、独居世帯は増加し、少ない人数で多くの人を介護しないとイケない時代となります。今後、日本がどうなっていくのかと不安になります。国は在宅医療充実のため、地域包括ケアシステムの構築を強く推進しています。私が働く職場は、在宅復帰を目指すリハビリ専門病院です。

安心して住み慣れた地域で生活できるよう、入院から退院後の生活を見据えた看護ケアを提供し、地域との連携を密にとっています。在宅支援で重要なカギは、在宅医療を担う看護師ですが、訪問看護師は不足しており、人材育成と離職防止・潜在看護師の発掘が課題となっています。これらの課題に向けて、連盟会員として、まずは自分の身近な職場のスタッフに連盟の活動を知ってもらうことから始めていきたいと思ひます。そして、自分自身が専門職として自律できるよう自己研鑽に努めたいと思ひます。

# ちよっといい話

## かがやく西予市民病院

西予市立西予市民病院 兵頭 厚美



西予市が誕生して10年、宇和病院は64年の幕を閉じ西予市民病院として平成26年9月21日新たな一歩を歩み出しました。春にはれんげ祭りで賑わう田園の中に移転し、太陽光発電装置とともに今は輝いています。

1階フロアは外来診療部門、2階フロアは手術室と3病棟が集結しています。病棟は同じような構造なのでピンク・イエロー・グリーンと病棟ごとに色分けしていますが、まだ自分たちが迷いウロウロすることもあります。外来は、廊下が広く明るくなったこと、各部門を大きな数字で表記したことで患者さま



にもわかりやすく喜んでもらっています。

職員のユニホームも一新して、新たな気持ちで人との繋がりを大切に安心と信頼の医療を提供する病院を目指しています。新病院になって地域の方々の期待も高く様々なご意見をいただきますが、これからも「患者・家族に寄り添う心」を忘れずに頑張っていきます。



## 入会のご案内

看護協会の目的達成に必要な政治活動を行い、国民・県民の健康と福祉の向上に貢献します！



編集  
後記

あけましておめでとうございます。  
 昨年は私たちの代表を衆議院に2名、参議院に2名送り出すことが出来ました。  
 今年は看護職にとっても勝負の年です。  
 今年も引き続き、ご協力お願いいたします。